

農業

安曇野の特性を生かした産地づくりへ

安曇野市水田農業推進協議会設立総会が11月15日、三郷公民館で開かれました。協議会は、JA・農業者・消費者・農業関係団体などで構成され、安曇野の特徴を生かした産地づくりに向け、地域・農家・関係機関が一体となって取り組めます。この日は、「新たな需給調整システムに向けた体制整備」「生産目標数量の配分ルールの設定」「水田農業構造改革交付金の制度設計」などの事業計画を承認したほか、国が進める新たな需給調整システムに関する概要の説明も行われました。



安曇野の米づくり。そのあるべき姿について検討する

消費者

身近な例を知って消費者被害防止～困ったら、すぐ相談～



出前講座のご希望は市民環境部環境課(TEL82・3131)まで

悪質な業者が巧妙な手口で、高齢者などを狙って高額な現金をだまし取る悪質商法の被害を防止するため、市では、消費生活相談員である望月弘充さんが講師を務める「消費者の被害予防出前講座」を開催しています。11月20日には、耳塚老人クラブの皆さん約30人が穂高老人保健センターで受講しました。望月さんは、市内で実際に起きた事例やだまされないための注意点、クーリング・オフ制度などを紹介し、おかしいと思ったら、県や市の窓口にご相談をしてくださいと呼び掛けていました。

行政委員会

教育委員会と固定資産評価審査委員会 新委員紹介

任期に満了に伴う教育委員と固定資産評価審査委員の人事案が10月13日に行われた臨時議会に提出され、それぞれ議会の同意を得て決まりました。

教育委員は、川名洪良氏が退任し、新たに益子光磨氏が選任されました。任期は、平成22年11月8日までの4年間です。

固定資産評価審査委員は、小穴桓司氏が再任されました。任期は、平成21年11月8日までの3年間です。

また、監査委員の轟孝三氏が11月30日付けで退任されました。

教育委員



益子光磨氏 (新任)

固定資産評価審査委員



小穴桓司氏 (再任)

給食センターの建設が始まる

中部・南部学校給食センター



中部学校給食センター完成予想図



南部学校給食センター完成予想図

■中部学校給食センター概要

- ・鉄骨2階建て(延床面積…1951.47平方メートル)
- ・豊科・明科地域の小・中学校7校分(2,500食)を提供

■南部学校給食センター概要

- ・鉄骨2階建て(延床面積…1793.05平方メートル)
- ・三郷地域の小中学校2校分と豊科地域の小学校1校分(2,500食)を提供

安曇野市中部学校給食センター(豊科南穂高)と南部学校給食センター(三郷明盛)建設工事の起工式が11月13日、それぞれの建設地で行われました。式に出席した平林市長は「最新の設備で、子どもたちに安全でおいしい給食を提供できると自負しています。安曇野の子どもたちが安心・安全な給食で心

身ともに健康に育ってくれることを願っています」とあいさつしました。両学校給食センターは、衛生面に配慮したドライシステム、太陽光発電システムを導入するほか、食物アレルギーに対応した給食(30食)を調理する専用室も設置されます。来年7月に完成する予定で、8月から子どもたちに給食を提供します。建設地は、中部学校給食センターが豊科北小学校北側に、南部学校給食センターが、三郷小学校の南側になります。新学校給食センターの建設は、豊科・三郷・明科地域にそれぞれある給食センターが老朽化したため合併前から検討委員会を設置し、建設費や運営コストなど、多角的に検討を行った結果、3つの施設をそれぞれ建て替えるのではなく、市内2カ所に建設する計画に決まりました。

子どもを守るために通学路安全マップを作成

教育委員会は、市内17小・中学校の通学路の危険箇所などを掲載した「通学路安全マップ」を作成し、各学校・総合支所などに配布しました。

学校をはじめ家庭、地域で子どもを守るために作成し、各学校ごとの通学路を中心に「不審者が出没しやすい場所」や「交通量が多い道路」、「子どもを守る安心の家」などを掲載しています。

個人や団体は、教育委員会で閲覧できます。

